

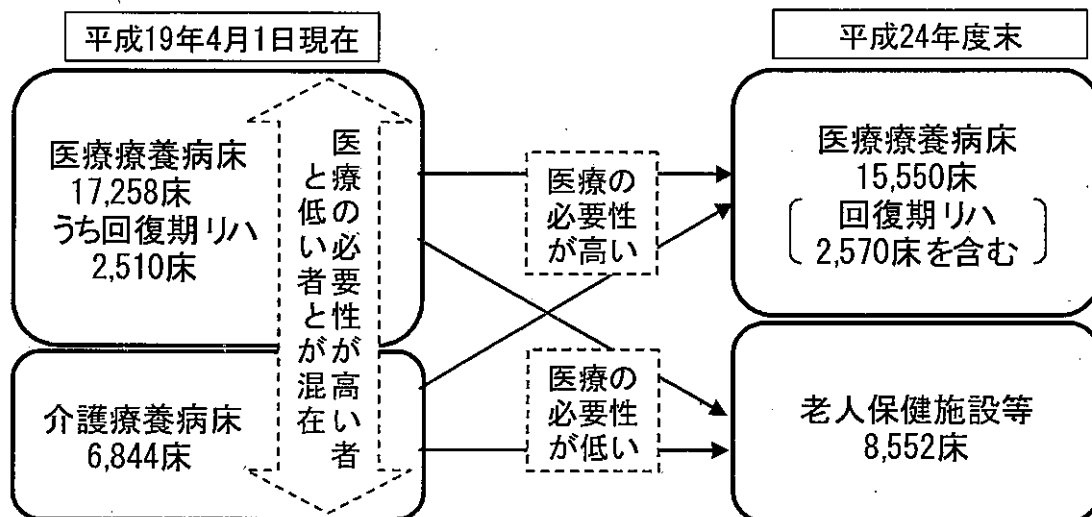
## 福岡県地域ケア体制整備構想の概要について

### 【構想策定の背景と趣旨】

国の医療制度改革により、療養病床が再編成されることとなった。

療養病床については、医療の必要性が高い方に特化し、医療の必要性が低い方については介護サービスの提供、地域社会における住まいの整備や見守りサービス、在宅医療の展開等を図る必要がある。

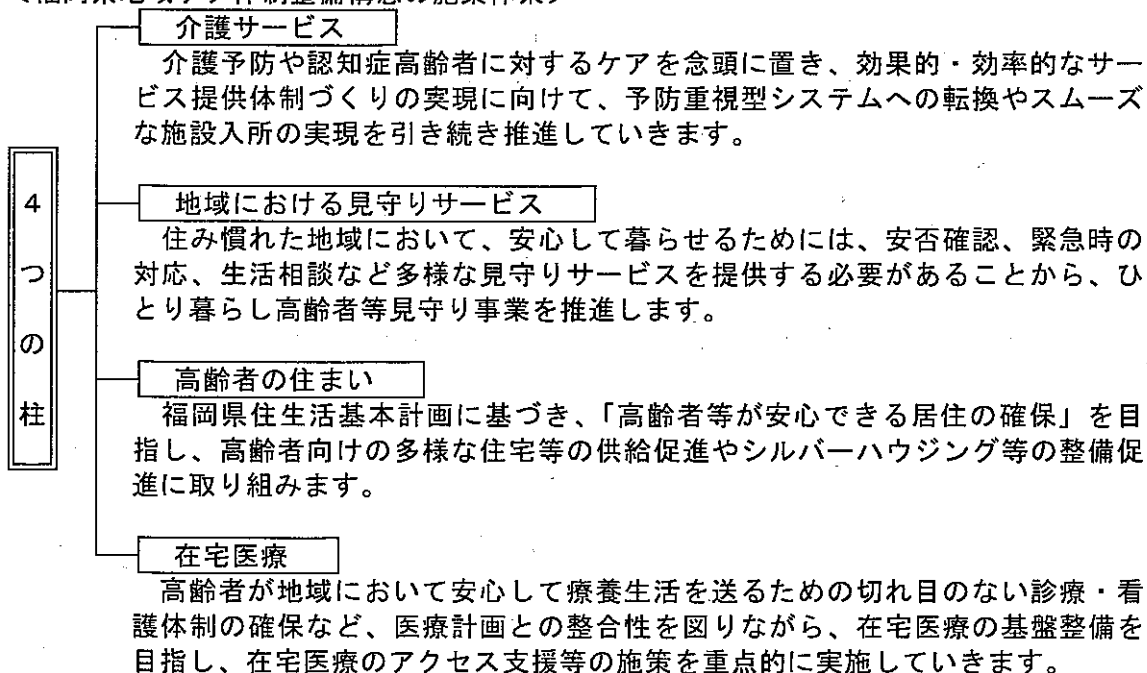
療養病床の再編成を踏まえ、介護サービスをはじめとして、地域における見守りサービスや住まいの整備、在宅医療提供体制の整備等を含めて、県、市町村、医療機関、介護事業者、そして県民それぞれが連携・協力して取り組むべき方向を示した「福岡県地域ケア体制整備構想」を策定するもの。



### 【構想策定にあたっての基本理念】

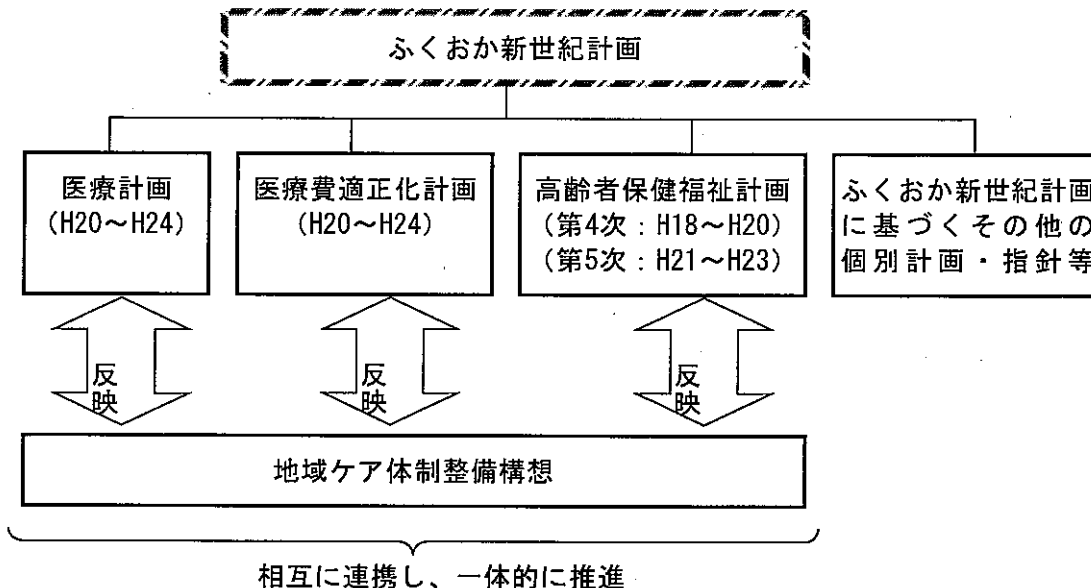
「いきいきと暮らせる安全・安心な社会づくり」を基本理念とし、県民すべてが安心して健やかに暮らせる活力ある高齢社会の実現を目指す。

### <福岡県地域ケア体制整備構想の施策体系>



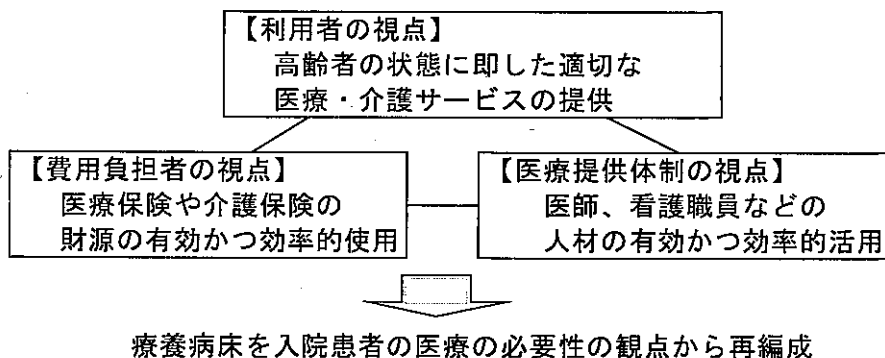
【施策推進のための諸計画との関係】

本構想は、「ふくおか新世紀計画」に基づく「医療計画」「医療費適正化計画」「高齢者保健福祉計画」が調和を保つことができるよう、統一的・横断的な基本対応方針を明らかにするもの。



【療養病床の再編成に関する基本姿勢】

- 再編成に対応するための3つの視点



- 福岡県における療養病床の目標値に対する考え方

- 療養病床の介護保険施設等への円滑な転換を進める一方で、医療の必要性が高い入院患者の療養先の確保や高齢化の進展等に伴って増加すると見込まれる長期療養が必要な高齢者のための病床を確保することが必要である。
- このため、福岡県においては、療養病床に入院している全患者を対象とした実態調査を独自に実施し、その結果得られた入院患者の状態像に基づき平成24年度末の療養病床目標値を15,550床(回復期リハビリテーション病床を除き12,980床)と設定する。
- 今後、この目標数をもとに、平成20年度の早い時期に医療機関の転換意向を調査し、その結果を加味して具体的な療養病床の転換計画を策定する。  
この転換計画に沿って、入院を要する長期療養患者のための病床が失われないよう、必要な療養病床数を確保した上で、円滑な介護保険施設等への転換が実現することを目指す。

【地域ケア体制の将来像】

○ 高齢化等の将来推計

・総人口及び高齢者数

(単位：千人)

	平成17年	平成27年	平成37年	平成47年
総人口	5,050	4,977	4,759	4,440
高齢者数	1,002	1,301	1,433	1,446
うち後期高齢者数	464	637	834	891
高齢化率	19.9%	26.1%	30.1%	32.6%
区分				
単独世帯	174	238	279	275
夫婦のみ世帯	316	395	394	384
その他世帯	512	669	760	787

○ 介護サービス等の推計

・要支援・要介護認定者数

(単位：千人)

区分	平成17年	平成27年	平成37年	平成47年
要介護（支援）者数	202	255	320	368
世帯別				
単独世帯	37	48	60	67
夫婦のみ世帯	46	59	70	78
その他世帯	120	148	190	223
要介護度別				
要支援1	(要支援) 47	52	63	69
要支援2		24	30	34
要介護1	67	64	80	91
要介護2	27	38	47	56
要介護3	23	30	39	46
要介護4	21	26	33	40
要介護5	18	22	28	33
認定率	20.2%	19.6%	22.3%	25.4%

○ 望ましい将来像

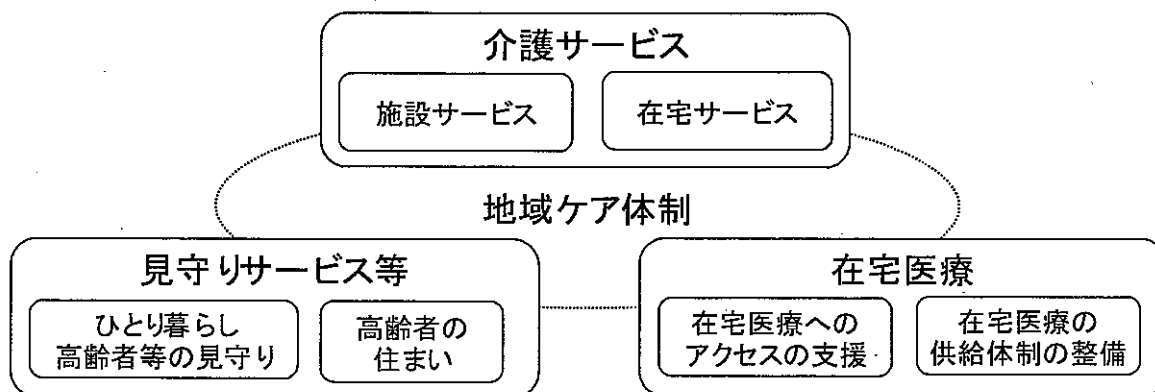
・日常生活圏域におけるケア体制の充実

高齢者に対する見守り活動をはじめとして、地域のコミュニティや保健・医療・福祉サービスの連携により地域ケア体制の充実を図るとともに、保健・医療・介護に従事する人材の養成・確保を今後も進める必要がある。

・高齢者のニーズに応じた社会資源の活用・整備

現在の住宅状況等を踏まえ、介護が必要になっても自宅等において安心して暮らし続けられるよう、住宅施策とも連携して高齢者への支援を図っていく必要がある。

<地域ケア体制のイメージ>

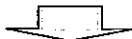


【療養病床転換推進計画】

平成19年4月1日時点

医療療養病床	介護療養病床	合計
17,258床	6,844床	24,102床

- ・ 介護療養病床については、平成23年度末を持って廃止されること。
- ・ 医療療養病床は医療費適正化計画に定める平成24年度末の療養病床の病床数に関する数値目標を達成すること。



医療費適正化計画を踏まえた目標値(平成24年度末)	
療養病床	15,550床(2,570床)

○ 福岡県における「転換計画表」の考え方

今後国から示される予定の制度改正の内容を踏まえて、平成20年度当初に再度「療養病床転換意向等アンケート調査」を実施し、また医療機関から直接ヒアリングを行った後に「転換計画表」を見直す。

見直しの後、「転換計画表」を圏域ごとに作成し、「福岡県介護保険事業支援計画」及び「市町村介護保険事業計画」策定に資する。

○ 福岡県における「転換計画」の進め方

医療の必要性が高い者には療養病床において医療を提供し、低い者に対してはその状態に相応しい介護サービスが提供されるよう、必要な療養病床を確保するとともに介護保険施設等への円滑な転換を進める。

転換にかかる介護保険施設等の指定等については、地域ケア体制整備構想（転換計画表）を反映した介護保険事業支援計画に基づき、計画的に実施する。